

からこんにちは！

一学期を終えて

校長 増本 邦雄

4月8日からスタートした69日間の1学期が終わります。

小中一貫校としての2年目のスタートでした。始業式では、「えーかつこをしよう」「そこに中身を入れて、本物になろう」「みんなでポジティブな声をしよう」と話しました。子どもたちは、その言葉によく応えてくれたと思います。初めてのことがたくさんあった小学校1年生、中学校1年生。先生や先輩の頑張る姿をよく見てめいっばい頑張っていました。他の学年も昨年の自分以上の自分を目指して、「学力アップ」「ハートアップ」「パワーアップ」していました。

特に、「ハートアップ」のあいさつはすばらしかったと思います。小中合同全校朝礼で生徒指導部会の先生方が劇を交えて「語先後礼」を示してくれました。「おはようございます」の言葉が先。立ち止まっただけの「礼」が後。9学年みんなが意識してあいさつしている姿は、とても清々しくかつこよく思いました。学校に来られたお客様もきちんと立ち止まってあいさつする子どもたちに驚き「西ノ島小中の子どもたちのあいさつはすばらしいですね。」と褒めていただ

きました。これが学校以外の地域でもできるようになると本物だと思えます。そこは夏休みの子どもたちに期待したいと思えます。

「パワーアップ」では、「パワーアップタイム」や「部活動」など日常の活動を通して「陸上記録会」「隠岐大会」「島前バスケット大会」などの対外行事ですばらしい成果をあげました。「学力アップ」では、普段の授業はもちろんのこと、地域に Outreach 地域に学ぶ「ふるさと教育」にも熱心に取り組みしました。「地域との交流」「職場の見学」「職場体験」など子どもたちにとってふるさと西ノ島の高さを知る有意義な学習になりました。

このような学びの場は、地域の方々の支えがあったからこそだと思います。また、子どもたちが落ち着いて学校生活を送れたのは、それぞれの家庭での子どもとの対話や励ましがあったことだと思えます。保護者の皆様、地域の皆様が学校教育にご協力いただき、子どもたちに適切に関わってくださいました。

さて、いよいよ夏休みが始まります。学校は休みですが、休みの日もまた成長のための大切な一日だと思えます。普段できないことができ、自分を一歩成長させるチャンスです。様々な体験から

「学力アップ」「ハートアップ」「パワーアップ」でできるチャンスは、案外この夏休みにあるような気がします。ご家庭でも、休みの過ごし方を子ども任せにせず、計画や約束を話し合い、適切な関わりで自立に向けた夏休みを過ごさせてほしいと思います。

小中学校

外浜清掃

6月30日(木)に小学校5、6年生と中学生で外浜清掃を行いました。西ノ島町観光協会の方に協力いただき、10の縦割り班に分かれて浜に流れ着いたゴミなどを拾いました。



▲小5～中3 全員集合

「話をしよう」：家族と、地域の人と、親戚と「考えよう」：自分のこと、人のこと、周りのこと「本を読もう」：新しい世界を広く、一つのことを深く「汗を流そう」：お手伝い、地域行事、部活動「隠岐の高さを感じよう」：隠岐を知る、自然に触れる



▲小学生と中学生で協力しました

暑い日差しが照りつける中、児童生徒は互いに声をかけ合いながら協力して活動し、たくさんのごみを回収することができました。児童生徒が汗をかき、一生懸命作業してくれたおかげで本来の美しい砂浜を取り戻すことができました。これから海水浴に訪れる

西ノ島小中学校

方々にも気持ちよく利用してもらえらると思ひます。このよふな活動を通ひして、ジオパークとしての隠岐の景観を守り、ふるさとに誇りを持つ心が児童生徒の中に育つてくれることを願ひます。

PTA街頭指導

4月から小中学校のPTAが一本化され新たに西ノ島小中学校PTAとしてスタートしました。

その取組の一つとして、街頭指導が始まっています。子どもたちの交通安全やあいさつ指導に、小中全ての保護者に関わっていただひています。街頭指導をしていただひた感想を一部紹介しします。

- 「おはようございます」「行つてきます」ときちんとあいさつしてくれました。横断歩道では左右の確認もしっかり行つており交通マナーが良かったと思ひます。
- 別府交通センターは、6年生がバスに乗る前にきちんと列に並べて乗せていました。
- 大きな声であいさつをしていて良かったと思ひますが、中学生は少し元気がなかつたよふに感じました。
- 出会つた人より先にあいさつが

できると良い印象を与えらると思ひます。

いただひたご意見は職員で共有し、今後の指導に活かしていきたくと思ひます。2学期からもよろしくお願ひします。

小学校

ふるさと教育

3年生は、総合的な学習の時間に西ノ島町の伝統や文化について学習をしています。精霊船の歴史やそこに関わる人々の思ひや願ひについて学習を進めてきました。



▲竹中さんから精霊船のお話を聞きました

学習の中で、子どもたちから「精霊船を作つてみたい」という思ひが生まれ、地域から「ふるさと館の精霊船を修復してほしい」

という依頼を受けることになりました。地域講師の竹中余志一さんに教わりながら精霊船の模型の修復をしました。紙を切つて精霊船につける旗を作つたり、旗をロープに留めたりする作業などを通して、地域の行事の意義について学ぶことができました。精霊船は完成し、現在はふるさと館に展示されています。



▲精霊船の模型の修復作業の様子

1年生は、6月30日(木)に、生活科の学習で夏を探しに島根鼻へ校外学習に出かけました。前半は、二人一組で虫探しをし、バッタや蝶をたくさん捕まえ、草を入れてしばらく学校で飼う準備をしました。後半は、夏の植物探しです。葉になる葉、食用できる葉

名前の由来などを口村光房さんから教わりました。とても暑い日でしたが、トンボを追いかけて、はるか彼方へ走つて行くほど元気な子どもたちで、西ノ島の夏の自然を満喫しました。



▲夏の植物探しの様子



▲網を使って虫を捕まえる児童